

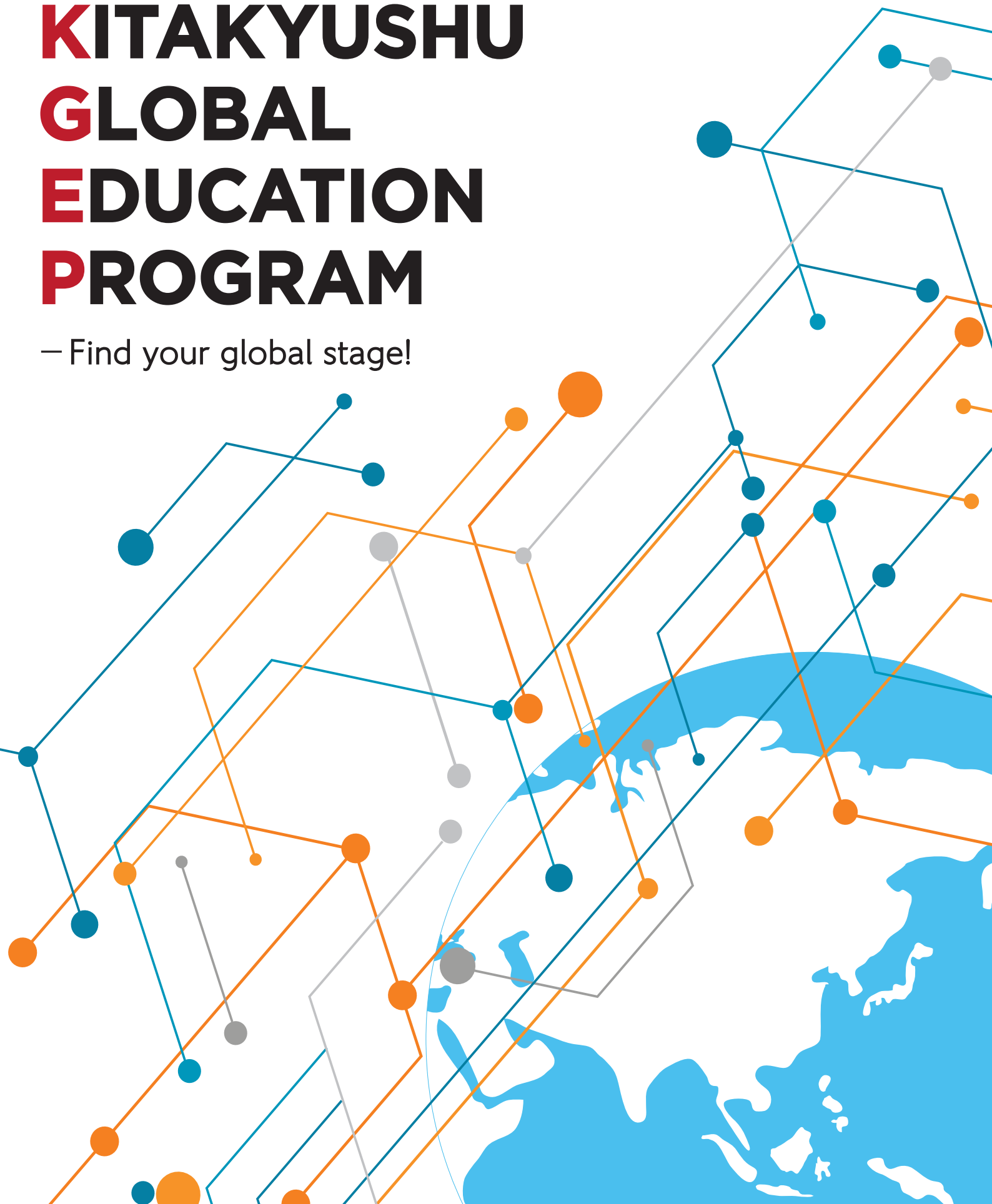


北九州市立大学
国際教育交流センター



KITAKYUSHU GLOBAL EDUCATION PROGRAM

— Find your global stage!



「Kitakyushu Global Education Program (KEGP)」は、北方キャンパスの学生が、海外での学びを体験することで、世界を舞台にグローバルな視点で自ら行動できる人材として成長できるよう、それまで実施してきた「Kitakyushu Global Pioneers (KGP)」をさらに多くの学生が取り組みやすいプログラムとして改編し、2019年度より始まったグローバル教育プログラムです。

経済、社会、文化、生活などあらゆる面でグローバル化が急速に進み、産業界のみならず地域社会も隔々までグローバル化が浸透する中、国内で仕事をする場合でも、グローバルな経験と知見が必要になります。また、このような時代を生き抜く力（コミュニケーション能力、主体性、協調性、チャレンジ精神、課題発見・解決能力など）を身につけることが求められています。ぜひKGEPでの取り組みを通して、グローバル社会で活躍するために必要なスキルを磨き、キャリア形成をする上での強みを増やしてください。

KGEPでは留学制度をはじめとした大学の国際的なリソースを参加学生が自主的に活用し、そこでの取り組みを通じて、幅広い教養や語学力を修得し、複眼的視野を持って主体的に考え、行動する力を養いグローバル人材としての素養を段階的に伸ばしていくことが期待されます。

Advanced コース

（副専攻プログラム）

高い英語運用能力と実践力を修得することを目指す、大学の副専攻プログラムとしても認定されるコース。英語で専門科目を履修することが修了要件の1つとなっており、登録時に一定の英語力が求められます。

参加学生の声



植野 颯太さん 1期生（文学部 比較文化学科）

Advancedコースは入学時のオリエンテーションで知りました。英語運用能力全般を磨けるほか、もともと国際関係にも関心があり、所属学部では履修できないこれらの授業を受講できる機会があるのも魅力に感じたことがコースに応募した理由です。

コースに入ってから主専攻と副専攻の学修タイミングをずらし、2年では主専攻の勉強に重点を置き、3年になって集中的に副専攻科目を履修しました。専門教育科目では国際関係に関連する科目のほか、主専攻に関連する科目も受講しましたが、いずれの授業も海外の先生の視点や考え方を聴けることは刺激になりました。

コースでの学修が進む中、英語力の下地がついたことを感じるだけでなく、自分に潜在的に頑張れる力があると気づきました。このことは交換留学に向け語学検定試験の勉強の原動力になり、また留学やキャリアに対する考え方も変わりました。留学については自分のスタンダードが通じない、少しハードルが高い環境に飛び込んでチャレンジしたいと思うようになりました。就職活動に関しては1、2年の頃は考えてもみなかった外資系や日系グローバル企業への就職も視野に入れるようになり、キャリアの選択肢が広がったと思います。

現在、アイルランド国立大学ゴールウェイ校への留学を予定しています。留学を通して自分の可能性をもっと模索できることを楽しみにしています。

進学先を決めるため北九大の大学案内を見ていた高校3年生のときAdvancedコースを知り、入学したら入りたいと思っていました。

コース1年目の今年は必須科目を中心に履修し、その他少し英米学科の英語で学ぶ専門教育科目も学びました。最初に取りった“Higher English”では、周りのスピーキング力に圧倒され、授業で聴き取れないところもあり初めのうちは萎縮していました。けれども、事前に授業で取り上げる動画や資料をよく予習することで、徐々にコメントを述べたり、質問に答えられたりできるようになりました。

このコースを受講してよかったことは、専門分野では履修できない科目を学べる点です。例えば、専門教育科目では自分の専門と関連性のないビジネス科目を取りましたが、経済やビジネスのことを学んだのは新鮮で楽しく、物の見方や関心の幅が広がりました。その他、少人数プログラムなので自分で考えて行動を起こす力がつき、精神的にも度胸もついたと思います。3年生でアメリカへの長期留学を予定していますが、英語で学ぶこの経験は留学に向けての準備になるとも感じています。



武田 桜さん 2期生（文学部 比較文化学科）



留学をより有意義なものにするために～留学準備科目「世界での学び方」

国際教育交流センターでは基盤教育科目で「世界での学び方」を開講しています。当科目は、留学準備科目として、学生が留学や海外体験プログラムを円滑に実施し、より充実した留学生活を送ることができるよう必要な知識や視座を提供することを意図しています。

留学プログラムへの参加を検討している学生のみならず、海外へ行くことを躊躇している学生にとっては留学経験を活かしたキャリア形成を検討する機会に、海外プログラムへの参加は敷居が高いと感じている学生にとっては、世界への視野を広げ、視点を転換する機会とすることができます。

なお、この科目はChallengeコースに参加するための登録要件となっています。



Challenge コース

(教育プログラム)

海外体験をベースにグローバル人材として求められる素養を段階的に高めることを目的としたコース。語学テストのスコア要件は設けておらず、海外体験に関心のある学生にとって参加しやすい取組み内容です。



松本 菜奈さん 外国語学部 英米学科
(2021年9月“Global Leader”の到達)

Challengeコースは「世界での学び方」で知りました。各分野のメダル要件を見て、知識力分野などはすでに履修している科目があったことがメダルを集めようと思ったきっかけです。メダルを獲得すると取組み成果が目に見えて分かり、やる気が起きるので今までメダルを貯めてきました。

4分野での活動で自分にとって核になっているのは、1年生の春休みに参加したオーストラリア・ニューカッスル大学の語学研修に参加した経験です。短期間でしたが、異文化で生活した経験は視野を広げ、多くの気づきや学びの機会となりました。例えばある時、ホストファミリーから日本のお正月について聞かれ、おせち料理を食べると答えたものの、それをどのように説明すればよいのか言葉がうまく見つからなかったことがありました。そのため、日本に戻ってからは何事も関心を持って見たり、気になったことはすぐ調べたりと1つ1つをしっかりと吸収しようと思うようになりました。また研修中、自分で動くことが大切だと痛感し、受動的姿勢ではなにも吸収できないことも実感しました。こういった経験を無駄にしたくないという気持ちから、還元力分野の活動の1つである留学相談会に参加しました。留学を希望している後輩と体験を共有することで、当時の振り返りの機会となり自分にとってもプラスになりました。

4つの分野は、例えば語学力分野は留学に向けての語学の勉強の励みに、還元力分野は自分の海外体験を振り返り、成長につなげるきっかけになると感じています。

Challengeコースの各分野のメダルを意識したのは、昨年の夏休みに参加した海外大学オンラインプログラムがきっかけです。もともと留学を希望していましたが、コロナ禍により留学できる見込みが低いため、その代わりに英語にどっぷりつかり、他校の学生とも話す機会だと思い、オンラインプログラムに参加しました。期間が2週間だったのも頑張ってみようと思った一因です。

プログラムでは現地大学の学生と共に講義を聞いたり、企業訪問をしたり、日本人学生と現地学生が混ざったグループで最終のプレゼンテーションに向けて発表資料を作成しました。活動はきついこともありましたが、現地の学生にはとても支えてもらったと思います。

このプログラムに参加し、Challengeコースに本登録され、海外体験メダルも獲得したこともあり、各分野での取組みを意識しながら大学生活を送りたいと思っています。海外体験機会が閉ざされている中、Challengeコースを活用して語学の勉強などのインセンティブにしたいです。



山口 祐奈さん 経済学部 経営情報学科
(2021年7月仮登録、10月本登録)

教員からのメッセージはこちら ▶



Advanced コース

アドバンスト

- 対象 外国語学部（英米学科を除く）、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群の学生
- 定員 10名（各年度）
- 開始年次 2年次～

磨け！ 真のグローバル人材！

高い英語力をベースに、英語を学ぶ専門科目の受講、海外体験を行い、国際的な視野を有してグローバルに活躍できる人材になることを目指します。

特色.1

英語“で”学ぶカリキュラム

ハイレベルな英語“を”学ぶのに加え、英語“で”専門科目を学びます。

特色.2

実践的な英語運用力の強化

授業でディベートやグループ討論、レポート作成を英語で取り組むことで、論理的思考、説得する力を身につけます。また、コース修了要件にもTOEICスコアの規定があり、グローバル人材に欠かせない実践的な英語運用力を高めることを目指します。

特色.3

留学プログラムへの参加

グローバル人材に求められる異文化への適応力、課題発見・解決能力、チャレンジ精神などを養うため、海外プログラムに参加することを修了要件としています。

特色.4

就職活動でのアピール

本コースを修了した学生には、卒業時、卒業証書に加え、大学として「副専攻修了証書」を授与します。また、学生が就職活動などでアピールできるよう、副専攻修了見込証明書も発行します。

コース登録申請

- 募集時期 2月
- 履修決定時期 3月
- 履修開始年次と申請要件
- ①2年次開始……1年次2学期末のTOEICスコア650以上
- ②3年次開始……2年次2学期末のTOEICスコア680以上
- ※いずれの時期の申請も累積GPA2.5以上が望ましい。

副専攻とは

自分の学部・学群における専門分野の教育課程（主専攻）を学びながら、主専攻の枠組みを超えた学際的な領域について、体系的な教育課程で学ぶプログラムです。主専攻の学びを補完しながら、主専攻以外の第二の専門性の獲得などが可能になります。副専攻プログラムであるAdvancedコースを履修する学生はより多くのことを学び、体験しなければなりません。就職や社会での活躍を後押しするものと期待しています。

カリキュラム

英語で専門科目を中心とした科目を受講

科目大区分	科目小区分	科目群名または科目
基盤教育科目		英語集中プログラム ・Higher English I[英米]・II[英米]
英語科目(任意)		実践英語 I・II
専門教育科目	演習科目	英語集中プログラム ・Academic English III・IV 論文作成、ディスカッション・ディベート能力養成
	専門入門科目	・English for Core Program など 専門入門科目の基礎を学ぶ
	English Studies 科目	・地域・社会・文化科目群 世界の文化・社会現象を学ぶ
	実践科目	・観光・経営科目群 ダイナミックに動く国際ビジネスを学ぶ
		・特定課題演習

+ プラス

海外体験

国際教育交流センターが提供する留学プログラムへの参加

修了要件

- 修了要件単位数 **18単位**を修得
- 卒業時まで **TOEICスコア730以上**
- 留学または国際教育交流センターが提供する **留学プログラムを経験**



副専攻修了証書

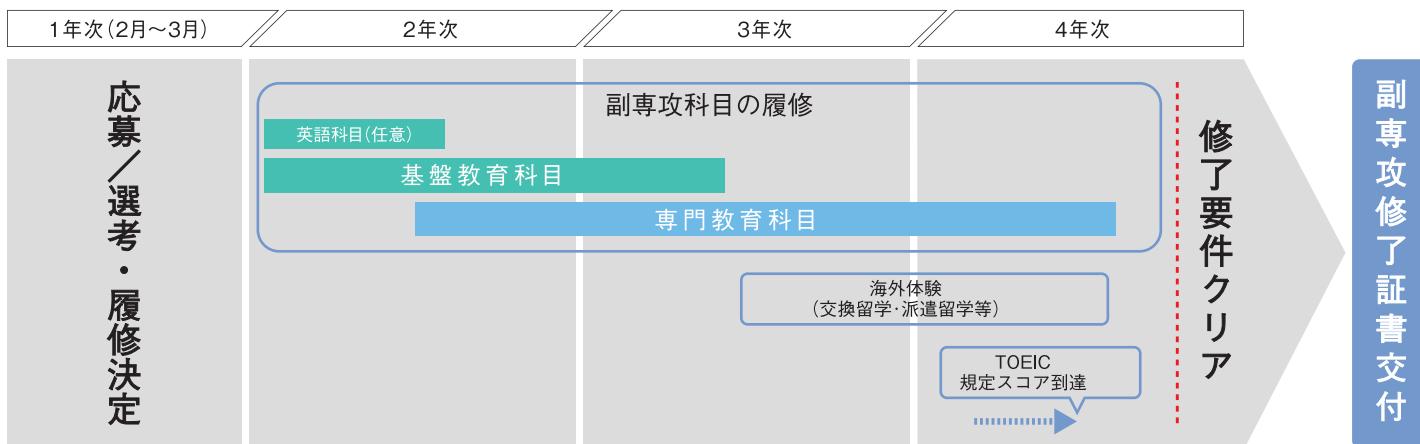
英語力の
更なる向上

英語で
専門知識を
修得

留学等で
実践力を強化

Advancedコース取組みモデル

下記は一例です。学生ごとに副専攻科目の履修進度、留学時期/期間、TOEIC規定スコアの到達時期は異なります。



担当教員・履修学生へインタビュー

副専攻科目担当教員に伺いました

Q ご担当の“Media and Communication Studies”について講義の概要を教えてください。

A この講義はメディア理論に基づき映画やテレビ番組、ポップソング、新聞記事、ウェブサイト、ラジオ番組を分析し、社会におけるメディアの役割を理解することを目的とします。

Q 講義で工夫していることや気をつけていることはありますか？

A この講義では、コンテンツ(人間社会とメディア間の相互作用)が常に最新であることが重要です。そのため必要に応じて、新しい理論や新しいメディアを講義内容に組み込んでいます。

Q Advancedコース(副専攻プログラム)の履修に関心を持っている学生へのメッセージ

A このコースは、絶え間なく変化する国際社会で成功するために必要な知識、スキル、世界観を身につけ、積極的かつ進歩的に貢献できるマインドを養い、英語スキルの向上を奨励するよう構成されています。このチャンスを逃さず、楽しく自分自身を向上させてみませんか。



Adam Hailes先生
アダム・ヘイルズ
外国語学部 英米学科

副専攻科目の履修について学生に聞いてみました



Advancedコース1期生
大石 歩夢さん
外国語学部 中国学科

Q 副専攻科目を履修していて楽しいと思うことは？

A 日本以外の視点から世界や日本のことを知ることができたことです。専門用語を学べたことも大きいです。

Q 副専攻科目を履修して難しい、大変だと思うことは？

A 全て英語で行われる授業は初めてだったので、話を理解し、その場で自分の意見を英語で述べる一連の流れに最初のうちは苦労しました。間違いを恐れず積極的に発言することで徐々に克服できたと思います。また、レポートや課題も最初は時間をかけて取り組みました。回数を重ねるうちに着実にこなせるようになったと思います。専門分野の勉強との兼ね合いは、2年次から専門の授業も増えたので大変でしたが、新しい知識を修得することは大変な分、達成感も大きいです。

Q 副専攻科目を履修して良かったと思うことは？

A 興味のある分野の専門知識や英語力を身につけられたことです。副専攻科目で学んだことは主専攻の授業と重なる部分もあり、専門分野についてもより理解を深めることができました。また、国際的な視野を得て、以前よりも物事を多角的に考えるようになったと思います。その他、他学科の学生との横のつながりができたことも良かったです。

Q Advancedコースは自分のキャリアにどのように活かそうですか？

A 現在、就職活動を進めていますが、どのキャリアであっても英語は活かせると実感しています。私自身は、公務員志望でグローバル人材として活躍したいと考えています。

副専攻科目についてさらに知りたい方はこちら▶



Challenge コース

チャレンジ

- 対象 外国語学部、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群の学生
- 定員 なし
- 開始年次 1年次～

目指せ！グローバルフロンランナー！

海外での学びを体験することで、国際理解や知識を拡大させるとともに、語学力の向上につなげ、グローバル社会で活躍する意欲を高め、自ら行動できる人材となることを目指します。

■コースの特長

特長.1 活動分野は4分野

「知識力」、「語学力」、「海外体験」、「還元力」の各分野で活動に取り組みます。語学力だけでなく、グローバル人材としての素養をオールマイティに伸ばすことを目指します。

特長.2 基盤教育科目「世界での学び方」からスタート

当コースの入り口は「世界での学び方」の受講から。この科目で海外体験に対する予備知識をつけるだけでなく、グローバル社会で活躍するために自分に必要な要素を考える機会にもなります。

特長.3 各分野での取組みについてメダルを付与

4分野でメダルを貯めながらスキルや知識を積み上げます。そして獲得したメダル数で、各分野での取組み成果を可視化しながらレベルアップを図ることができます。

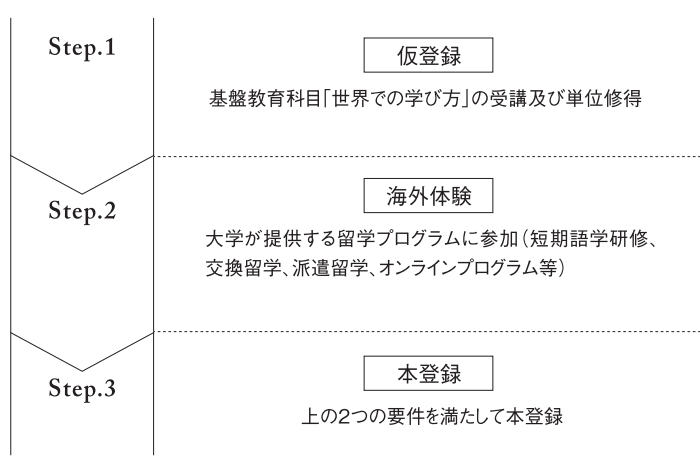
特長.4 獲得メダル数に応じ称号を付与し総合評価

各分野で獲得したメダル枚数に応じて5つのレベルの称号が設定されています。称号はグローバル人材としての素養を段階的に伸ばしていくためのマイルストーンになります。

特長.5 学士課程全体を通じて取組み可能

海外体験の前と後では取り組む活動分野が少しずつ変わってきます。そのため大学在学中は自分が関心のある分野や補っていききたいスキルに関する分野の活動に自分のペースですずとかかわっていくことができます*。
※各分野で獲得できるメダル数は上限があります。

▶コース登録方法



※Step.1とStep.2は学生によって順序が逆になることがあります。
※語学テストのスコア要件はありません。

▶修了要件

各分野で獲得したメダル数（各項目最大7個）に応じて称号を付与し総合評価を行います。各段階の称号の要件を満たすと対応する称号の修了証書を発行します。

▶メダル申請について

・初回：Challengeコース仮登録時 ・2回目以降：毎年4月、10月（年2回）
※仮登録の状態でもメダルを貯めていくことができます。

■4つの活動分野

外国語検定試験のスコアでメダルをGET!

- ▶対象となる語学検定試験
TOEIC, IELTS, TOEFL, HSK, TOPIK等

語学力

学業でメダルをGET! ～グローバル人材に必要な教養を修得

- ▶「世界での学び方」+基盤教育科目の中から4科目以上（計10単位以上）の単位修得
- ▶学業成績（GPA）

知識力

海外体験でメダルをGET!

- ▶国際教育交流センターが実施する海外語学研修、交換留学、派遣留学、オンラインプログラム等に参加

海外体験

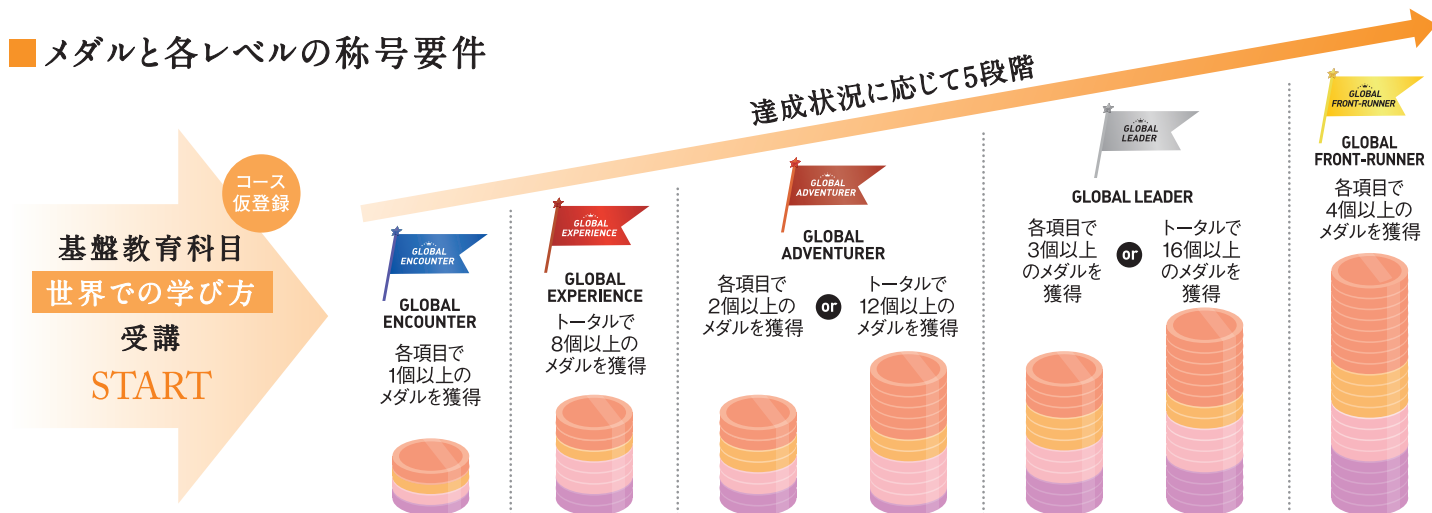
留学経験を大学の活動に還元してメダルをGET! ～海外での学びを振り返る

- ▶留学相談会での後輩支援活動
- ▶留学支援活動（チューター活動など）への参加
- ▶国際交流プログラム等に指導的役割で参加

還元力

各分野でメダルを獲得してレベルアップ

■メダルと各レベルの称号要件



■4分野のメダル要件

● 知識力

①基盤教育科目

科目区分	授業科目	配当年次
地域科目	地域と国際	1
	地域の文化と歴史	1
	地域のにぎわいづくり	1
環境科目	環境問題概論	1
	未来を創る環境技術	1
	環境都市としての北九州	1
世界(地球)科目	現代の国際情勢	1
	グローバル化する経済	1
	国際社会と日本	1
	国際学入門	1
	韓国の社会と文化	1
	可能性としての歴史	2
	現代社会と文化	2
	Japanese Culture and Society	2
知の創造科目	English Speaking Cultures and Societies	2
	ことばの科学	1
	企業と社会	1
	文化を読む	1
共生と協働科目	芸術と人間	1
	異文化理解の基礎	1
	市民活動論	1
ライフ・デザイン科目	共生社会論	1
	世界での学び方 ※必修科目	1
	キャリア・デザイン	1
	プロフェッショナルの仕事	2
	企業・団体の課題解決	2

※「世界での学び方」を除いて選択科目(全て2単位)→メダル1:10単位(必修1科目と選択4科目)の取得

②学業成績 (GPA)

メダル	プログラム内容
1	累積 GPA2.50 以上
2	累積 GPA2.75 以上
3	累積 GPA3.00 以上

※1-3年次の2学期終了時に上記の基準を超えた場合に加算

● 語学力

メダル	英 語			中国語
	TOEIC	IELTS	TOEFL-iBT	HSK
1	600	5.0	62	5級 210
2	650	—	69	5級 240
3	700	5.5	76	6級 180
4	750	—	83	6級 240
5	800	6.0	88	6級 270
6	850	6.5	96	—
7	900	7.0	101	—

※その他の語学試験:英語(TOEFL-PBT)、中国語(中国語検定・TECC)、TOPIK等

● 海外体験

メダル	プログラム内容
1	Short Program(最低でも2週間程度)への参加
3	Semester Programへの参加
6	Year Programへの参加

● 還元力

メダル	プログラム区分	プログラム内容(例)
1~3	留学生支援	チューターの登録等
	後輩支援	報告会・相談会等への参加
	交流活動	交流プログラム等への参加

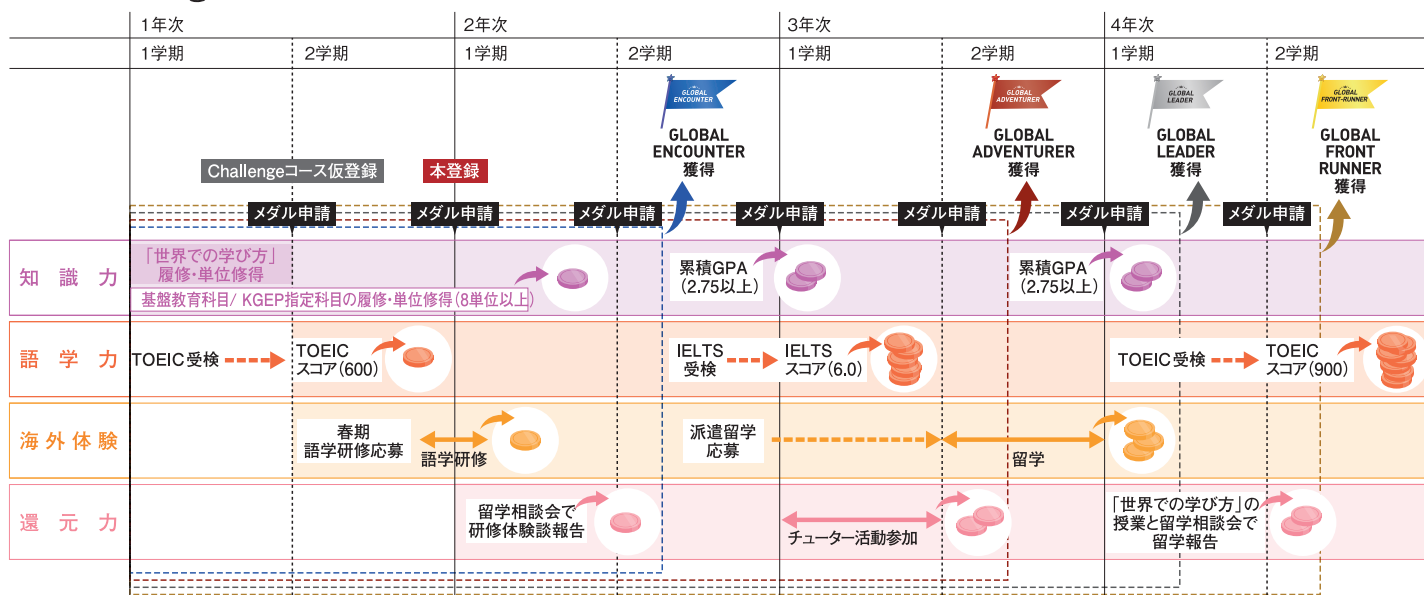
還元力分野・活動取組み例 (チューター制度)

本学のチューター制度は、日本人学生(チューター)が、短期留学生の日本語及び専門分野の学習や生活のサポートを1対1で行う制度です。期間は1学期間、週1回程度活動を行います。なお、チューターの募集は毎学期行っています。



■Challengeコース取組みモデル

※下記は一例です。学生によってメダルや称号獲得状況は異なります。



留学制度

大学の留学プログラムを利用する6つのポイント

経済的負担が少ない

学費免除、補助金、奨学金など北九大独自の制度が充実

大学のプログラムという安心感

事務手続きサポート、北九大と留学先大学の連携

休学せずに留学ができる

留学中も北九大に在籍、単位認定制度
⇒留学しても同級生と一緒に4年間で卒業可能

教育内容の質の保証

海外協定校の質の高い教育

情報収集・計画立案のしやすさ

過去の実績や先輩の体験に基づく情報提供
国際教育交流センターでの相談

留学前から帰国後までトータルサポート

留学前の準備・疑問・不安の解消の対応、帰国後もフォローアップ

Study Abroad Program〈留学プログラムの種類〉/ プログラムについて

海外に興味がある、
気軽に留学したい人はまずはコレ!

海外語学研修

春休み、夏休みを利用し、海外協定校の短期語学研修プログラムに参加します。研修先によって現地学生との交流や文化体験プログラムなど様々なアクティビティも用意されています。集中的に語学を学び、異文化理解を深めることを目的としており、参加要件はなく、希望者は何年度でも参加できます。

プログラムや留学期間を選んで
自分に合ったプランで留学!

派遣留学

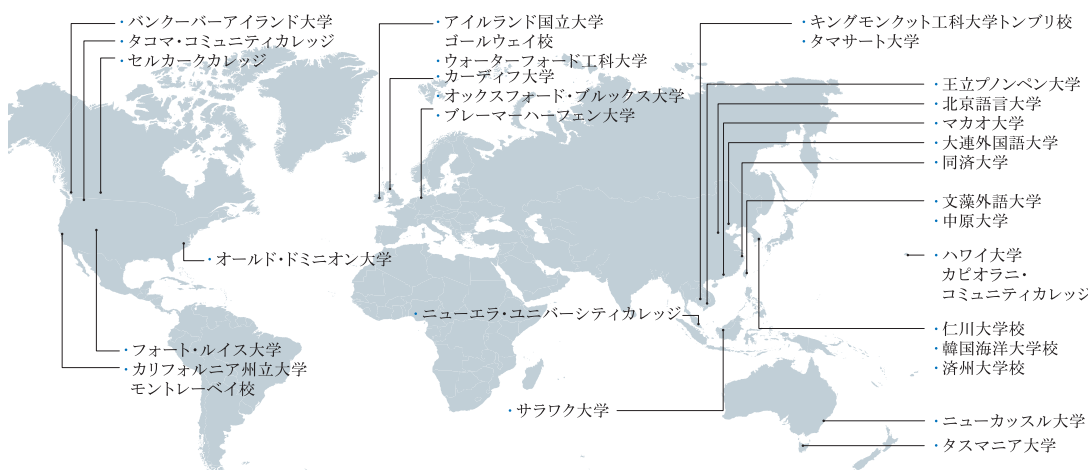
海外の協定大学に半年間または1年間留学する制度で、派遣先大学ごとでプログラム内容に特徴があります。留学期間中は本学の授業料と留学先大学の授業料が必要になりますが、本学の授業料相当分(北京語言大学及び同済大学の場合は協定大学の授業料相当分)を受給できる補助金制度があります。

留学先大学の、より専門的な科目を
現地の学生と一緒に学ぶ!

交換留学

本学と学生交流協定を結んでいる海外の大学との間で、学生を相互に派遣・受入する制度です。留学期間中は本学の授業料を支払うだけで、留学先大学の授業を受けることができます(授業料免除)。留学先では多くの場合、現地の学生と一緒に正規の専門科目を受講するため、あらかじめ一定の語学力があることが求められる場合があります。

12ヶ国・2地域の29大学と留学協定を締結しています。〈留学協定校紹介〉



海外語学研修 実績 開始年度から
2019年度まで累計

協定校名称	2018年度	2019年度	累計
大連外国語大学	1	2	157
北京語言大学	4	0	79
タスマニア大学	0	0	114
ニューカッスル大学	5	6	71
オールド・ドミニオン大学	0	0	111
セルカークカレッジ	8	5	36
キングモンクトン工科大学	1	0	1
仁川大学校	—	3	3
中原大学	—	0	0

奨学金制度(給付型)

1 日本学生支援機構(JASSO) 海外留学支援制度(協定派遣)

■支給額

8万円/月 アメリカ・イギリス・アイルランド・ドイツ
7万円/月 オーストラリア・韓国・タイ・マレーシア・カンボジア
6万円/月 中国(マカオ)・台湾

■対象プログラム

交換留学/派遣留学

■支給条件

学業成績が優秀で人物等に優れており、JASSOの定める成績評価係数の基準を満たすこと。
その他、JASSOの定める要件(家計基準含む)を満たしていること

■支給人数

年度により異なる

2 北九州市立大学奨学補助金 (授業料補助)

■支給額

本学の授業料相当額
英語圏派遣留学
(タコマ・コミュニティカレッジ、フォート・ルイス大学、ハワイ大学
カピオラニ・コミュニティカレッジ、バンクーバーアイランド大学、
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校)

■留学先の授業料相当額

中国語圏派遣留学(北京語言大学、同済大学)

■対象プログラム

派遣留学

■支給条件

学業成績が優秀で人物等に優れており、1のJASSO奨学金支給対象外の学生

■支給人数

支給条件に合致する学生全員

3 北九州市立大学奨学補助金 北九州市立大学 国際交流基金奨学補助金

■支給額

10万円/1回
アメリカ・イギリス・アイルランド・オーストラリア・ドイツ
タイ(交換留学)・マレーシア・マカオ・カナダ・カンボジア
5万円/1回
韓国・中国(マカオ除く交換留学・派遣留学)・台湾
3万円/1回 中国・タイ(海外語学研修)

■対象プログラム

交換留学/派遣留学/海外語学研修

■支給条件

学業成績が優秀で人物等に優れており、1のJASSO奨学金支給対象外の学生、国際交流基金から補助金を受給する学生は同窓会・後援会費を完納していること

■支給人数

支給条件に合致する学生全員

北九州市立大学 国際教育交流センター

北方キャンパス

〒802-8577 福岡県北九州市小倉南区北方4-2-1(2号館 1F)

E-mail: k-g-p@kitakyu-u.ac.jp

国際教育
交流センター▶



KGEP▶

